

甲佐町オレンジ通信

令和 5 年 8 月 甲佐町地域包括支援センター

第 3 号(通巻第 83 号)

高齢者と災害を考える



夏の小川の観察会をしました。甲佐町の緑川支流は、豊かな森に囲まれて、多様な生き物たちが暮らしています。観察会でもきれいな川に生息するサワガニやどんかっちょ、カワムツ、モクズガニ、ヌマエビ、それらを食べる鳥たちの姿もありました。人にとっても身近な小川で安心して遊べる素晴らしい里地里山の遊園地です。これも、きれいな水を守って共に暮らしてきた地元の皆さん、農家の皆さんの努力の賜物でもあります。

また、農家の方が管理されている田んぼも低い位置に多くあり、豪雨災害時には「たんぼダム」となり、危険を知らせてくれます。ありがたいことです。

最近の豪雨は地球規模の気象の変化から、大量の水蒸気が湧き上がり過去最高の雨を降らせています。



今や毎年、日本各地で豪雨災害が生じており、私たちの緑川水系も山に囲まれて、遠くの山に降った雨も含めて、危険な濁流となる可能性があります。

県南の豪雨災害時、多くの高齢者の命が奪われました。「なん、このくらい大丈夫！」という判断では危険です。地域で少しでもできる安全対策を考えましょう。まずは、「命」、安全な避難場所を確保しましょう。

家や公民館が低地にある場合は、少し高台の公共施設や親戚の家へ一時避難しても良いと思います。

少し高台にお住いの皆さん、地域の高齢者の方の受け入れ態勢がとれるのであれば、「危なか時は泊まりに来てよかよ。」と声かけを検討してみてもはいかがでしょうか。

災害時の避難場所として地域の介護施設での対応も検討できると思いますので、介護保険サービスを利用されている方は、早めに担当のケアマネジャーと災害を想定して打ち合わせをしておくことも大切です。

甲佐町地域包括支援センターでは、6月から月に1回、全10回にわたって認知症に関する情報「甲佐町オレンジ通信」を発行します。



お問い合わせ先
甲佐町地域包括支援センター
(甲佐町役場 福祉課)
TEL 234-1114